

問題集
一般知能 数的処理
(判断推理)

1 A ①

本書の使い方

本書は、過去の本試験問題をテキストに出てくる順に掲載してありますので、テキストを前から読みながら、問題演習することができます。

章がまたがる問題については、原則として、後ろの章に掲載しました。

すべての問題について、

難易度を表示しました。

- A …… やさしい問題でとりこぼしのできない問題
- B …… やや難しいが正解しなければならない問題
- C …… かなり難しいが50%ぐらいの確率で解ける問題
- D …… 超難問で誰も解けないので演習不要の問題

解答時間の目安を表示しました。

- 30秒 …… 30秒程度で解答できる問題
- 1分00秒 …… 1分程度で解答できる問題
- 1分30秒 …… 1分30秒程度で解答できる問題
- 2分00秒 …… 2分以上の時間がかかる問題

出題年次を
明示しました。

試験区分を
明示しました。

Q1-1

難易度 A 時間の目安 5分00秒 出題 H29 試験区分 特別区Ⅲ類

ある職場の4つのお菓子の好みについて、次のア～エのことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

この問題は、やさしい問題で、解答時間の目安は5分00秒、平成29年度試験の問題であることを示します。

正解は、解答解説ページの下側に配置し、文字の濃度を薄くして、演習中に見えにくいようにしました。

正解 A1-1 ウ

問題演習の取り組み方

問題演習はあくまでも実力アップのために取り組むものです。単に答えがあっているかどうかだけでなく、答えを導くまでの過程が大切です。ですから、以下のよう実践してみてください。

- ① 問題集は何回も繰り返し学習するため絶対にボールペン等で書き込みをしないようにしてください。また、鉛筆を使用する場合でも強く書くと跡が残りますので、注意しましょう。
- ② 最初のうちは時間がかかるとはありますが、徐々に解くスピードが早くなりますので、時間を気にしないようにしてください。
- ③ 終了後、解説を確認して答え合わせをしてください。この際、以下のことを守ってください。
 - 重要だと思うことはテキストの余白に書き込んでください。
 - 答えあわせにおいて重要なことは答えが正しいかどうかではなく、自分の考えたプロセスが正しいかどうかです。自分のノートと解説をよく見比べてください。
 - 答えあわせの後、次回演習の目安とするため問題に○・△・×のいずれかを記入してください。

- …… 正解し、理解しているので再学習不要
- △ …… 正解だが考え方が不安なので再度学習
- × …… 不正解、理解していない

1 X 10月1日 Time 2分45秒 2 △ 10月2日 Time 2分10秒 3 O 10月4日 Time 1分30秒 4 月 日 Time 分 秒 5 月 日 Time 分 秒

以上の方法により、過去問を3回以上繰り返してください。なお、2回目以降は前述の△・×の記載のある問題を中心に演習しましょう。

最後に、受講生から、よく「私は同じ問題を何度も同じ箇所間違えるのですが」と相談を受けます。人間誰も同じ過ちを繰り返すものです。間違えた問題には正確に内容を理解できるまで何度も挑戦してみてください。

1-1 集合

Q1-1 難易度 A 時間の目安 5分00秒 出題 H29 試験区分 特別区Ⅲ類

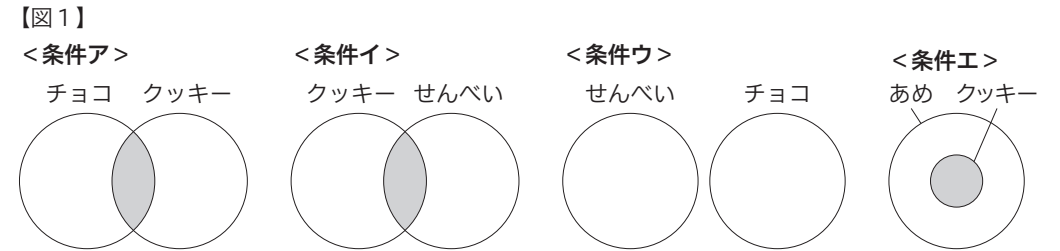
A1-1 1 月 日 2 月 日 3 月 日 4 月 日 5 月 日
Time 分 秒 Time 分 秒 Time 分 秒 Time 分 秒 Time 分 秒

ある職場の4つのお菓子の好みについて、次のア～エのことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

- ア チョコレートが好きな人の中には、クッキーが好きな人もいる。
- イ クッキーが好きな人の中には、せんべいが好きな人もいる。
- ウ せんべいが好きな人は、チョコレートが好きではない。
- エ クッキーが好きな人は、あめが好きである。

1. クッキーが好きな人は、せんべいが好きである。
2. クッキーが好きな人は、チョコレートが好きである。
3. あめが好きな人は、4つのお菓子がいずれも好きである。
4. あめだけが好きな人もいる。
5. せんべいが好きな人の中には、あめが好きな人もいる。

条件アとイの「～の中には、～な人もいる」という表現を見たら、ベン図を使いましょう。それぞれの条件をベン図に表すと、図1のようになります。



そのうえで、重なる条件がないかを見ていくと、条件ア、イ、ウが次のようにまとめられることが分かります。

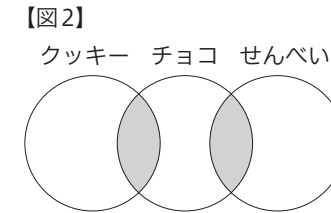


図2に条件エのあめを入れていくわけですが、条件を見ても、あめとチョコやせんべいの関係は分かりません。したがって、ひとまず部分的に交わせて、図3のように書いておきましょう。

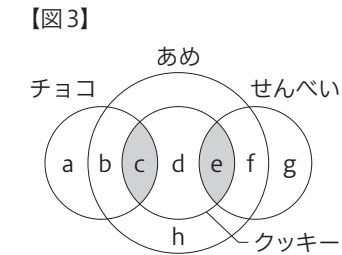


図3を見ながら、選択肢を検討していきます。

1. × cはせんべいが好きではないので、不正解です。
2. × eはチョコレートが好きではないので、不正解です。
3. × あめもチョコもクッキーもせんべいも好きな人はいないので、不正解です。
4. × 肢4の内容は図3でいえばhに該当しますが、図3はあくまでも仮で書いたものであり、絶対ではありません。つまり、hに該当する人がいる場合もあればない場合もあります。したがって、確実にとは言えないので不正解です。
5. ○ eは確実に存在するので、正解です。